

「保険でより良い歯科医療を」宮城の会ニュース

第2号 2020年8月●日

「保険でより良い歯科医療を」宮城の会事務局発行（宮城県保険医協会内）
（電話）022-265-1667（FAX）022-265-0576（E-mail）miyagi-hok@doc-net.or.jp



☆「宮城の会」活動に関するニュースについて

歯科医療を受ける側と提供する側が集う場として、また、食や口から見てくる社会問題を共に考える場として、「保険でより良い歯科医療を」宮城の会（略称：「宮城の会」）を昨年10月に結成しました。会の活動を賛同団体・個人の方々等にお知らせするために、ニュースを発行しています。ぜひ、「宮城の会」の存在を多くの方に広めて頂き、活動に関するご提案・ご意見等お寄せ下さい。

☆第3回世話人会議が開かれました。

7月17日に「宮城の会」第3回世話人会が開かれ、8団体から13名が出席しました。会議のはじめに、松島医療生活協同組合所長の遠藤世話人より「オーラルフレイル」に関する話題提供がありました。オーラルフレイルとは、嚥下低下、食べこぼし、わずかなむせ、噛めない食品が増える、口の乾燥、頬を噛む等の症状が合わさって起こる口腔機能の低下を意味すると説明。適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能になるとし、あいうべ体操や嚥下おでこ体操、歌を歌うなどの対処法を紹介しました。

議題内容は、代表世話人の1人に、全日本年金者組合宮城県本部の阿部執行委員長が承認されました。代表世話人は、阿部氏と宮城県保険医協会の井上理事長の2人となります。今後の活動については、「新型コロナウイルス感染症の影響による、地域歯科医療崩壊を防ぐ為の緊急対応を求める要望書」を国と県に送付することにしました。今年度より「宮城の会」が主催として取り組むことになった「いい歯デー市民のつどい」に関しては、新型コロナウイルス感染の影響を鑑み、従来形式（対面型企画）での開催はしないことにしました。代わりに、8月30日に「歯の何でも電話相談」を実施する他、引き続き検討することになりました。総会の準備についても意見交換し、10月10日（土）保険医協会研修ルームにて開催することが決定されました。世話人団体はもちろん、「宮城の会」に賛同されている方もご出席をお願いします。

☆この度、代表世話人になられた阿部氏より

生まれは、東京の大田区蒲田、民商（民主商工会）事務局の出身です。歯科医療については、私自身も二カ月に一度のペースで歯の「清掃」をしています。歯は、食事を美味しく食べるためだけでなく、いろんな病気と関連していると聞いています。年金者組合は高齢者の団体ですので、歯科医療についての要望や意見は多々あると思います。組合の活動にも、歯科医療の事を取り入れていきたいと思っています。

☆ひきつづき、「宮城の会」に賛同頂ける方を募っています。

ぜひ、「宮城の会」の存在を多くの方に広めて頂きますよう、ご協力をお願いします。

8月30の「歯の何でも電話相談」案内を同封していますので、こちらの宣伝協力もお願いします。